

平成29年 7月18日更新

★事務事業の概要（PLAN）

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(2) 各指標・総事業費 の推移			単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	回		66	197	120	101	120	120	120	120
	イ	人		4,680	4,692	3,000	2,363	3,000	3,000	3,000	3,000
② 対象指標	ア	%		59,067	60,008	60,100	60,100	60,900	61,500	62,000	62,500
	イ										
③ 成果指標	ア	%		25.3	25.5	30	22	30	30	30	30
	イ	%		42.3	43.7	45	37.9	45	45	45	45
投資 事業 入費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	4,817	3,904	4,298	3,033	1,320	1,320	1,320	1,320
	(A) 事業費計	千円	4,817	3,904	4,298	3,033	1,320	1,320	1,320	1,320	
		(A)のうち指定経費	千円	152	0	10	0	10	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	143	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	6	6	3	10	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	2,600	2,020	2,000	2,405	2,000	2,000	2,000	2,000
		(B)人件費計	千円	10,358	7,500	7,968	0	7,968	7,968	7,968	7,968
	トータルコスト(A)+(B)			千円	15,175	11,404	12,266	3,033	9,288	9,288	9,288

事務事業名	健康づくり事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（CHECK）

※原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【理由】 熊本地震の影響もあり、教室等の開催回数が減少した。
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・健康ステーションの維持、活性化に向けて、検討していく。 ・病態別教室の評価を含めて、より効果的な保健指導体制の構築に向けて見直しを行う。 ・データヘルス計画、健康増進計画も併せて進めていく。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 現在のフォロー体制を評価し、生活習慣改善の優先度が高い対象者に対し、個別にアプローチできるよう体制を見直すことで効果の向上の余地が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 こうし健康ステーションなど内容次第では、高齢者支援課との連携の可能性も考えられる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てているため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業委託で行っているため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 教室の募集を広報などを通じて広く募集しているため、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 こうし健康ステーションなど市が行っていた役割をステーションサポーターに一部担っていただくなど役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

病態別教室では参加者のリピーターが多いが、費用対効果が不明であるため、次年度は事業評価を含めてフォロー体制の見直しを行いながら生活習慣の改善を目指す。
また、健康ステーションは登録者が増えており、地域の健康づくりの拠点として機能している。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 病態別教室は、費用対効果が不明であるため、開催を見合わせる。集団指導から個別指導にシフトし、保健指導の体制の強化を行う。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上		○																									
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												